

令和5年度
近畿地域未来につながる持続可能な農業推進コンクール

(GAP部門)

GAPを活かした教育活動の展開

きょうとふりつきづこうとうがっこう
京都府立木津高等学校

主な取組

京都府木津川市

木津高校は、京都府と連携し、「茶」の生産農家に対して適正な生産工程等の普及に取り組んでいる。

また、2017年にGLOBALGAP認証を「茶」で取得し、現在に至るまで認証を継続している。

GAPの取組を通して安全・衛生への意識向上に努めており、茶の生産から製茶に至るまで作業の改善に向け継続的に取り組んでいるほか、生徒が安全・衛生について学習する時間を増加させるなど、人材育成に力を入れている。

GAPのモデル農場として、毎年GAP認証の取得に関心のある農業者や、農業関係機関を対象に認証審査を公開し、その様子は京都新聞に掲載されるなど、地域におけるGAPの取組拡大に大いに貢献している。



書類審査の様子



圃場審査の様子

令和5年度
近畿地域未来につながる持続可能な農業推進コンクール

(有機農業・環境保全型農業部門)

有機JAS農産物や大阪エコ農産物の販売拡大を通じての生産と消費をつなぐ取り組み

かぶしきがいしゃ さんぷらざ

株式会社 サンプラザ

主な取組

大阪府羽曳野市

株式会社サンプラザは「食卓に安心と健康をお届けする」をモットーに、大阪府南部エリアを中心に36店舗展開する食品スーパーであり、有機JAS 農産物や大阪エコ農産物を制度発足当初の約20年前から取り扱っている。

大阪エコ農産物について11品目（約143t）、10名の生産者の方々との直接取引を行い、有機JAS、大阪エコ農産物や地産地消商品の販売促進に取り組み、TVや新聞などマスコミにも広く取り上げられてきた。

さらに、農林水産省との温室効果ガス削減の「見える化」実証、大阪府の脱炭素社会への取組（「OsakaAGreenAction」）に参加しており、府民の脱炭素への意識改革や行動喚起をはかっている。

今年度は、さらに品目を増やすとともに、大阪版CFPの普及拡大、「国産有機サポーターズ」の一員として、取組を拡大させる。

また、こまつな生産者の圃場での収穫体験を毎年行い、消費者に大阪エコ農産物の魅力を伝える取り組みを実施してきた。



有機JAS、大阪エコ農産物特設コーナー



こまつな収穫体験の様子

令和5年度 近畿地域未来につながる持続可能な農業推進コンクール

(有機農業・環境保全型農業部門)

環境に優しい農業と良食味米作りの両立

ゆめふぁーむ (だいひょう あおやま なおや)
ユメファーム (代表 青山 直也)

主な取組

兵庫県豊岡市

ユメファーム代表青山直也氏は、会社に勤めながら父親の農業を手伝う兼業農家であったが、平成23年から専業農家に転身、認定農業者となった。同年からコウノトリ育む農法（減農薬タイプ）を開始し、兵庫県認証食品のひょうご安心ブランドを取得。「次世代へつなぐ農業」を掲げ、安全・安心・おいしい米づくりに取り組んでいる。

さらに、平成26年から同農法（無農薬タイプ）、平成29年から他の生産者4名とJAたじまの団体認証でGLOBAL G.A.P.を取得、令和3年には有機JAS認証も取得している。

環境だけでなく、“食味”にもこだわりを持っており、平成24年『第14回 米・食味鑑定コンクール国際大会』で特別優秀賞、平成28年『第18回 同国際大会』で金賞を受賞。

また地域の農会長を11年間務めており、全ての農家が無理なく、少ない労力で作業ができる環境作りを行うなど、地域のリーダーとしても活躍している。

令和5年現在、経営面積は水稻9.5ha（内、コウノトリ育む農法無農薬3ha、15a（小菊5,000株）。

